

青雲石

八王子市立第六中学校

学 校 だ よ り

令和7年11月27日

<http://hachioji-school.ed.jp/dai6j/>



本質的なことを学ぶ大切さ ～発達段階に応じて～

校 長 大熊 一正

今年度も、日本人から2人、ノーベル賞が贈られました。坂口志文氏（生理学・医学賞）と北川進氏（化学賞）です。これで、日本人の受賞者は30名になります。今回の受賞に関しては、お二人とも今までの地道な研究が世界に大きく貢献し、新しい技術として定着した研究内容が高く評価されました。

このように、物事の真実を追求する、自然のしくみを見いだすという研究は、そのような意志を強くもち、地道な取組を継続してこそたどりつくことができるものです。それでは、そのような想いは、いつ芽生えてくるのでしょうか。

多くの科学者が話していることは、中学・高校時代にそのきっかけがあるようです。それは、学びが徐々に体系化されて学問に近づいていく過程で生じた本質的な疑問だということです。

子どもは、発達段階に応じて様々な成長の姿を見せます。中学生になると自我が芽生え、世の中や自然に対して本質的な学びを求めていく傾向が生まれます。よく、「テストで〇〇点以上だったら□□を買ってあげる。」とか「〇〇点以下だったら■にするぞ。」といった褒美や罰が中学生になると効かなくなると思います。それは、世の中のしくみや大人が考えていることが分かるようになり、その言葉の裏側を読めるようになって、それに対する批判的な気持ちが生まれてくるからです。つまりそれは、大人へ向けての成長の表れでもあります。いわゆる反抗期と同じです。

学ぶことの楽しさ、大切さ、一方で真実を追求し掴むことの難しさ大変さ、その両方が分かってくる時期だからこそ、子どもの発達段階に応じた対応が大人にも必要ということになります。一方で、この時期の子どもは、自分への自信も実績もあまりありません。つまり、とても不安なのです。だからこそ、その不安に付き合っただけの姿勢がとても大切になります。子どもが思ったこと、考えたことをそのまま受け止め共感できる人の存在が、子どもの安心感につながります。信賞必罰ではなく、お子さんのありのままを受け入れ、一緒に考える姿勢を大事にさせていただき、さらに一人の大人としての自律へと導いていただきたいと思います。

令和9年度（2027年度）六中は80周年を迎えます

<その5 新しい校舎への移転>

新しい校舎が完成したのは、昭和24年3月13日。生徒たちは、それまでお世話になった第二商業高校の校舎から自分の机とイスを持って、新しい校舎へと移転したとの記録が残っています。ちょうど雪が降るような天気だったとのことですが、ようやく専用の校舎ができた喜びは大きかったでしょう。

当時の校舎は、木造2階建て、室数は14だそうです。元々兵舎だったものを解体・改造して建てたそうで、地元の方の尽力もあって完成しました。一期生は3クラス。2期生以降は5～6クラスだったので、すでにぎりぎりの大きさでした。そのため、すぐに第二校舎を建てなければならませんでした。

第1回 教育活動アンケートにていただいたご意見の回答

6月～7月にかけて実施しました、第1回教育活動アンケートの結果につきまして、9月号の学校だよりにて紹介させていただきましたが、今回は、保護者や地域の皆様からいただいたご意見についての回答を掲載させていただきます。後期の教育活動の改善事項として既に実施しているものもありますが、ご意見の中には、生徒指導や教職員の言動に関して、厳しいご指摘をいただきました。これらの点につきましては、真摯に受け止め、今後改善に努めて参りますが、もし至らない点等がありましたら、これから実施する第2回教育活動アンケートにてご意見をいただけると幸いです。ご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。

【学習・評価等に関すること】

- ・いつも大変お世話になっております。各教科の先生方が宿題等を提出した際、記述される評価とは別に、頑張りを認めていただき、具体的に良かったこと等の声かけをしていただけたことがあります。すぐに頑張りを認めていただけていることで、モチベーションも上がるようで、大変有難いです。お忙しい中、本当に極め細やかなご指導ありがとうございます。
(回答) ➡ありがとうございます。今後もより良い指導を継続してまいります。

- ・初めての期末試験、文章で答えるのに慣れておらず、数学や社会他、質問の意図がわからず難しかったと思いました。今の受験は文章解答が多いから慣れるためと聞きましたが、振り返りをやってみましたが、教科書に載ってない問題があったり、何をどう答えて良いのか正直分かりにくいと思いました。授業の中でこういう質問には、こんな感じで答えるとか、試験や受験向けのアドバイスがあったほうが良いと思いました。試験前、ノートを見てもプリントが多くてノートをあまりとってなかったり、とり方が分からないとも聞きました。私達の頃のマークシート時代とは違い、今の受験はこうだからといきなり突き放すのではなく、受験に向けて答え方を慣らして行った方がモチベーションも上がるのではないのでしょうか。と、思いました。
- ・教科によって試験での配点も疑問。それについて生徒が質問しても、クラス全員の前で間違えた個所を大声で指摘していて納得のいかない説明であった。
(回答) ➡定期考査では、授業での理解度を測るために実施しております。担当の先生の授業をしっかり聞くなど、日々の取組を大切にしてほしいと思います。試験での配点につきましては、教科によって評価の観点ごとに配点をしておりますので、ご理解願います。また、間違えた個所の説明については、納得のいく説明となるよう、粘り強く対応していくなど、改善してまいります。

【生徒指導に関すること】

- ・日頃のご指導ありがとうございます。お忙しい中、部活動の引率などしていただき感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・いつも大変お世話になっております。日頃から先生方の熱心なご指導に大変感謝しております。六中の先生方は、本当に子ども思いで保護者として大変ありがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・担任の先生から学級通信をいただき、クラスの様子がわかり、安心でき、子どもとの会話のきっかけにもなり、有難いです。
- ・担任の先生の話をよくしてくれます。毎日充実した学校生活を送れているようで、感謝しています。
(回答) ➡以上4点、ありがとうございます。今後もより良い指導を継続してまいります。

- ・学校公開では、子どもたちの自主性を活かすとともに、子どもたちに「自分たちでできた」と思わせるための先生方の準備や問いかけの工夫が素晴らしく、毎回「すごいなあ」と驚かされています。本当にありがたいです。一方で、いじめの問題等もあり、先生方も敏感になっていると思いますが、子どもたちも先生方の認識について敏感になっているということは、ご指導いただく上でご承知おきください。いじめの芽を見逃さないことは大切ですが、子どもたちには子どもたちの人間関係があり、大人の心配をよそに実にフラットな場合もあります。ご多忙な上、中学校でそこまで指導が必要とは本当に大変だと思っていますし、マニュアルに則った対応は大切ですが、せっかくご指導いただくならば、日々の人間関係を見極め、子どもたちが「なるほど」と、先生方への信頼を深められるよう期待します。ご面倒をお掛けしつつも、先生方とのお話はとても楽しく、考えるきっかけにもなっているようで、日々安心

感をもって楽しく通学しています。自分を理解してくれている大好きな先生方からのご指導だからこそ、しっかりと心に響いているのだと思います。思春期で親への嫌悪感も出てくる時期だからこそ、先生方はじめ、外でたくさん素敵な大人に出会ってほしいです。また、ケンカからは色々学ぶこともありますが、弱い者いじめからは学ぶことが皆無なので、人として絶対にしてはいけないことだと家庭でも引き続き徹底して伝えてまいります。生徒一人一人がそうした意識を強くもつことで、六中全体が良くなるというなと思います。

(回答) ➡今後も生徒たちのため、より良い手立てを常に考えて教育活動を行ってまいります。

- ・いつもお世話になってますし、感謝しています。ただ、あからさまに嫌なことを言ったりしたりする子への指導が遅いというか、徹底されていないというところが気になります。中学生なので先生が言ってすぐに改善するというのは難しいのかもしれませんが、先生はそういう行為は見逃さない、許さないの姿勢は伝えてほしいと思います。心配なこと、困っていることを先生や身近な大人に相談すれば助けてくれるという安心感をもてるようにしていただけたらと思います。

(回答) ➡生徒の中での言葉についてのご指摘と思います。もちろん気になる言葉については、その場で指導するようにしています。特に人の生命に関わるような言動については、見逃さずに指導してまいります。

- ・部活動は必ず18時下校を守ってほしいです。

(回答) ➡これについては改めて守るよう、各部活動で確認します。

- ・熱中症対策から、ジャージ登校を推奨したいです。ご検討ください。
- ・夏のポロシャツは白限定ですが、女子は透けることを嫌がり、買いましたが透けるからと着ようとしません。他の学校の子が、紺色ポロシャツをみんな着ていて、透けないから着やすそうと思いました。多感な時期なので、制服屋さんに夏ベストはセットだからと売りつけられるよりは、紺色のポロシャツも靴下やコート同様に取り入れてほしいと思いました。ご検討、どうぞよろしくお願いいたします。

(回答) ➡夏の熱中症対策に大変苦慮しております。活動後に着替えることが衛生面としては必要なことだと考えております。一方で、パブリックの場としての制服の指導も大事だと考えております。今後、生徒・保護者・地域の意見をうかがいながら、対応を検討してまいります。

【部活動に関すること】

- ・部活動の顧問が変わった場合、事務手続き等の引き継ぎをしっかりと行っていただきたいです。

(回答) ➡部活動改革の中で、活動の仕方やあり方については、毎年変わっております。引き続きご理解とご協力をお願いします。

【行事等に関すること】

- ・体育大会の1組の子のハチマキは緑ではなく、入った組の色で揃えてほしかったです。

(回答) ➡ご意見ありがとうございます。1組が開設されて人数も少ない中での学校行事の参加の仕方については、毎年検討していきます。安全面での配慮もあり、今回はこのように対応させていただきました。

- ・体育大会の延期日は、まずは翌日の日曜日にしてほしいです。平日の延期だと見に来られない保護者が多くなります。

(回答) ➡今年度は、事前に雨天が予想されたため、早めに延期の判断をいたしました。なお、延期日につきましては、日曜日は部活動の大会があるため、平日を延期日しております。ご理解願います。

- ・1学期は体育大会がありましたが、年々暑くなっていますので、熱中症対策を十二分にさせていただきたいと思いました。練習の際、暑さで体調不良者がかなり出たこと、予行の際にテントがなかったと聞いております。

- ・体育祭の時のムカデ競争で紐を膝上に結んでいる組がありました。作戦だとは思いますが、足首に統一しないと平等ではないと思います。スポーツマンシップであるならば、次回からはルールとして足首に統一した方がよいと思います。

(回答) ➡ご意見ありがとうございます。今後検討してまいります。

【保護者とのやりとりに関すること】

- ・三者面談の日程が決まるのが遅いため、仕事の調整がしづらいです。
(回答) ➡三者面談につきましては、できる限り早く日程を出せるように努力しております。引き続きご理解ご協力をお願いします。
- ・お休みの時 Home&school で何も返信がないので、やはり小学校とは違うのでしょうか、他の中学校では返信があるそうです。お忙しいとは思いますが、一言いただけるとありがたいです。
- ・保護者に配布した文書を全て Home & School に配信等載せていただきたいです。
(回答) ➡Home&school は、当日の出欠席の確認や保護者との連絡で活用させていただいております。欠席連絡については、必ずしもその場ですぐに返信はできないことをご理解ください。また、配布文書につきましても、紙で配布すべきものが多く、とくに3年生では、進路に関わるものが多いため、紙でのやりとりが重要となります。こちらについてもご理解ください。
- ・いつもお世話になっております。六中のホームページに以前あった、出席停止&登校届が見あたりません。お手数おかけしますが、ご確認よろしく願いいたします。
(回答) ➡出席停止に係る登校届をすぐにホームページにアップいたしました。
- ・PTA廃止を検討いただきたいです。
(回答) ➡皆さんの意見をもとに検討していく内容ですので、その点をご理解ください。

部活動の大会結果の紹介

陸上競技部

(敬称略)

- 第77回(男子17.6km)、第41回(女子12.8km)八王子市中学校駅伝競走大会
- ・男子 第4位 1時間04分12秒
 - ・女子 第9位 57分18秒

テニス部

八王子市秋季テニス大会

- ・男子団体 第5位
- ・女子団体 第5位 ※女子は決定戦に勝利し多摩地区中学校新人テニス大会に進出

卓球部

- ・男子 多摩地区中学校卓球選手権大会団体戦に出場
Juic杯 団体戦 ベスト16
- ・女子 多摩地区中学校卓球選手権大会団体戦に出場

バスケットボール部

71地区中学校バスケットボール新人大会

- ・男子 2回戦 対 七国中 80-29 勝利
3回戦 対 浅川中 53-77 敗戦 ※八王子市ベスト16